

令和7年度 事業報告

【事業概況】

令和7年度の長崎市の観光は、駅周辺と長崎スタジアムシティを中心に都市型観光が大きく伸長した一年でした。特にV・ファーレンの大型試合の開催日は、市内回遊と消費を押し上げました。また、クルーズ船の寄港再拡大により外国人観光客も回復基調で、市内の飲食・小売への波及効果が顕著となりました。

こうした環境下において、年間の入館者総数は83,368人（前年度比100.9%）、有料入館者は82,240人（同101.3%）と増加しました。特に、ランタンフェスティバル開催月の2月は、変面ショーと旅行会社による夜間貸切の増回により多くの人出となりましたが、混雑解消対策として、入場口のレーン化と大成殿前広場のゾーン分けを行うことで、大きなトラブルもなくイベントが終了できました。

公益事業では、企画展として「馬景泉篆刻作品展」および広東省博物館との連携による「西廂記文化展」を実施し、文化交流事業として一定の成果を得ました。また、常設展「清朝の陶器」を再開し、博物館の魅力改善も図りました。

初の取り組みとして、スタッフによる無料ガイドを始め、お客様の理解度の深めるとともに、体験価値の向上に務めました。このことは、スタッフ自身の施設理解と接客スキル向上にも繋がりました。施設維持管理では、表看板修繕、エアコン設備更新（補助金活用）や回廊屋根瓦止め工事等を実施し、安全性と環境整備を計画的に進めました。

収益事業では、物販事業が大幅に増加しました。特にランタンフェスティバル限定「切り絵御朱印」は、収益拡大とともに話題性に寄与しました。興行事業では、変面ショー収入が増加した他、価格設定を見直し付加価値を高めた漢服体験・絵付け体験に利用者が増加し、増収に繋がりました。

また、広報活動では、新聞・テレビ・雑誌・WEB媒体への掲載を積極的に行い、特にランタンフェスティバル関連の露出が施設認知度の向上に寄与しました。

以上のとおり、令和7年度は、既存事業の見直しを中心に新規事業にも取り組んだ事業展開により、入館者数および主要収益の増加が達成できました。一方で、団体需要の減少や施設運営費の増加など、収益構造の変化が顕在化しており、次年度以降は、更なる入館者増加の施策強化と広報活動、スタッフ教育を進めます。

1. 利用状況

（1）来館者統計

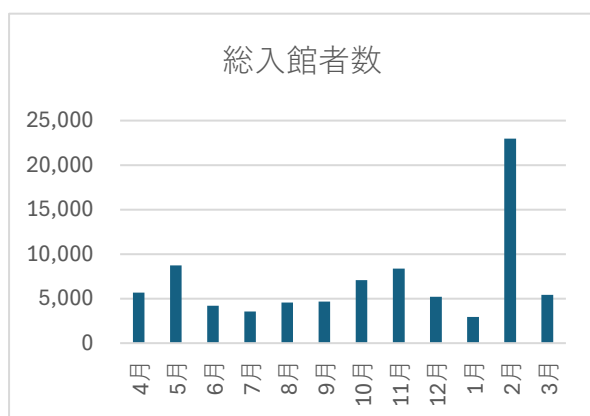
入館者総数 83,368 人（前年度 82,569 人／前年度比 100.9%）

内訳：有料入館者数 82,240 人（前年度 81,188 人／前年度比 101.3%）

無料入館者数 1,128 人（前年度 1,381 人／前年度比 81.6%）

昨年度と比較すると、総数では 799 人、有料入館者では、1,052 人の増加となった。中でもランタンフェスティバル開催月の 2 月が突出しており、期間中の変面ショーを 1 公演から 2 公演に増やしたことで、旅行会社による夜間貸切の日数が、前年度の 7 日間から、9 日間に増えたことが要因と考える。

月	2025（令和 7 年）度			2024（令和 6 年）度			前年度比
	有 料 入館者数	無 料 入館者数	入館者数	有 料 入館者数	無 料 入館者数	入館者数	
4 月	5,623	59	5,682	7,326	76	7,402	76.7%
5 月	8,645	87	8,732	9,342	101	9,443	92.4%
6 月	4,100	86	4,186	5,267	115	5,382	77.7%
7 月	3,500	48	3,548	3,414	101	3,515	100.9%
8 月	4,441	108	4,549	5,248	56	5,304	85.7%
9 月	4,626	31	4,657	4,797	126	4,923	94.5%
10 月	6,939	123	7,062	6,471	109	6,580	107.3%
11 月	8,170	209	8,379	7,887	128	8,015	104.5%
12 月	5,017	205	5,222	4,728	181	4,909	106.3%
1 月	2,899	60	2,959	4,773	119	4,892	60.4%
2 月	22,886	73	22,959	15,598	110	15,708	146.1%
3 月	5,394	39	5,433	6,337	159	6,496	83.6%
合計	82,240	1,128	83,368	81,188	1,381	82,569	100.9%



有料入館者内訳

一 般	大 人	60,538	73.6%
	高校生	1,727	2.1%
	小中学生	4,982	6.1%
割 引	大 人	7,634	9.3%
	高校生	926	1.1%
	小中学生	6,433	7.8%
		82,240	100.0%

(2) 主なイベントと来館者

月 日	内 容	人 数
4月26日(土)～5月6日(火)	ゴールデンウィーク	3,076人
7月19日(土)～8月31日(日)	夏休み	6,128人
8月8日(金)～31日(日)	夏休み子供向け「孔子廟クイズ」	161人
9月20日(土)	孔子生誕 2576 年孔子祭	143人
2月6日(金)～23日(月)	2026 長崎ランタンフェスティバル	21,779人
毎月不定期開催 計 94 回	変面ショー観覧者	18,112人

(3) その他

ア コスプレ撮影

実績：39組 152人（前年度 42組 142人）

参考：更衣室利用者 22組 63人 63,000円

9月から、無料で貸出していた更衣室を、1名 1,000円の有料化とし、利用者のマナー向上と新たな収益源の確保に繋げた

イ 学習目的の利用

実績：15校 484人／ワークシート利用者数 343人

市内小中学生の学習目的の入館料を免除することで、多くの児童や学生に来館を促し、中国の歴史や文化を学ぶ施設として認知度の向上を図った。また、新規で「長崎孔子廟ワークシート」を制作し、希望する学校に無料配布し、見るだけでなく学ぶ力の手助けとした。



ウ 無料入館者の利用

長崎市が選出する「長崎市観光大使」や、長崎商工会議所が主催する「長崎検定」の有級者の他、公共利用目的の撮影、下見を目的とする者などを無料入館とした。

2. 事業内容

(1) 公益事業

ア 博物館事業

(ア) 企画展「馬景泉篆刻作品展・孔子の教え—大学—」前期から継続展示

1990年に来日した篆刻作家の馬景泉氏の作品展

開催期間：4月1日(火)～10月5日(日)

来場者数：31,876人

(イ) 企画展「西廂記文化展 ～西廂に咲く恋の詩～」

広東省博物館の古典文学シリーズ初のオリジナル企画。中国文物交流センターの協力により長崎での開催が決定した。

開幕式には、中華人民共和国駐長崎総領事館の陳 泳駐長崎総領事も来賓として出席した。

また、ランタンフェスティバル時は、夜間貸切客の向けに時間延長を行い、特別感の演出として好評を得た。

開催期間：10月18日(土)～2月28日(土)

来場者数：42,216人



(ウ) 常設展「清朝の陶器」

3月16日(月)から、当館所有の故宮博物院企画展の陶磁器（レプリカ）の常設展示を再開した。これより企画展会場だった2階を常設展会場とし、3階を企画展会場とすることで、企画展入替え時でも大きく動線を動かさず常設展の見学が可能となった。

イ 孔子廟運営

孔子像を祀る大成殿の維持管理とともに、孔子の教えを伝えるため、スタッフによる無料ガイドサービスや、参拝者向けにロウソクや線香の販売を行った。また、廟正門前に設置されていた大学石碑等や石段が経年劣化により傾斜が進んでいた為、移設を行い、廟内の不用なロウソク立てや劣化した展示物の撤去等を行い、施設の美化と環境改善を行った。

実績：賽銭収入 432,304 円（前年度 476,565 円）



ウ 修繕事業（孔子廟維持管理）

施設の維持管理、来館者の安全確保を目的に修繕修理を行った。

＜工事内容 一部抜粋＞

令和7年 5月 石だたみ修繕工事 770,000 円

6月 表看板修繕 315,700 円

7月 エアコン設備更新 17,483,200 円

※内 11,655,000 円は、長崎市脱炭素先行地域づくり事業費補助金

9月 回廊屋根瓦止め工事 2,530,000 円

回廊修繕・改修工事 2,662,000 円

令和8年3月 大成殿前階段・儀門補修工事 4,854,000 円

(2) 収益事業

ア 物販事業

博物館 1 階で、売店を運営。ランタンフェスティバル期間中の夜間貸切時は、営業時間を延長した。隣接店舗と同種の中国雑貨を取り扱っていた為、差別化を図り「長崎土産」をテーマに決め、商品入替えと店舗レイアウトの変更を行った。

新たな取り組みで、ランタンフェスティバル期間限定「切り絵御朱印 (1 枚 1,000 円)」を販売した。その他、無人販売で、大成殿での線香・ろうソクの販売や施設内外で自動販売機による飲料販売を行った。

実績：収入 8,686,520 円（前年度 5,548,754 円）

参考：切り絵御朱印 販売数 2,461 枚／2,461,000 円



イ 不動産事業

コインパーキング事業と博物館 1 階売店のテナント料。昨年度からの売上げ減少は、マンション建設工事車両のコインパーキング利用が無くなった事が要因と考えられる。

実績：8,460,221 円（前年度 13,925,027 円）

※うち、コインパーキング収入 5,458,990 円（前年度 11,528,180 円）

ウ 興行事業

(ア) 変面ショー

専属変面師「京介」による公演収入。

実績：10,540,933 円（前年度 8,482,300 円）

委託費等：9,249,344 円（前年度 7,342,023 円）

(イ) 絵付け体験事業

1 回 1,000 円で、京劇面の絵付け体験ができる。団体の利用が増加した。

実績：139 名 139,000 円（前年度 83,000 円）

(ウ) 漢服体験事業

60 分 1,500 円のプランを、9 月から、スタンダードプラン（60 分 2,000 円）と修学旅行プラン（30 分 1,000 円）の 2 つに設定。利用客が少なかった有料のヘアアクセサリーや小物を、無料にすることでサービスを図り、学生の利用者が増加した。

実績：975,400 円（前年度 587,700 円）

内訳：スタンダードプラン 325 名、修学旅行プラン 344 名

(エ) 書写体験

1 回 500 円の体験料を 11 月から 100 円に変更。

リーズナブルな価格と、インバウンド向けに英語併記の見本を作成したことで、利用客が増えた。

実績：166 人 23,000 円（前年度 16,000 円）



3. 共通事業

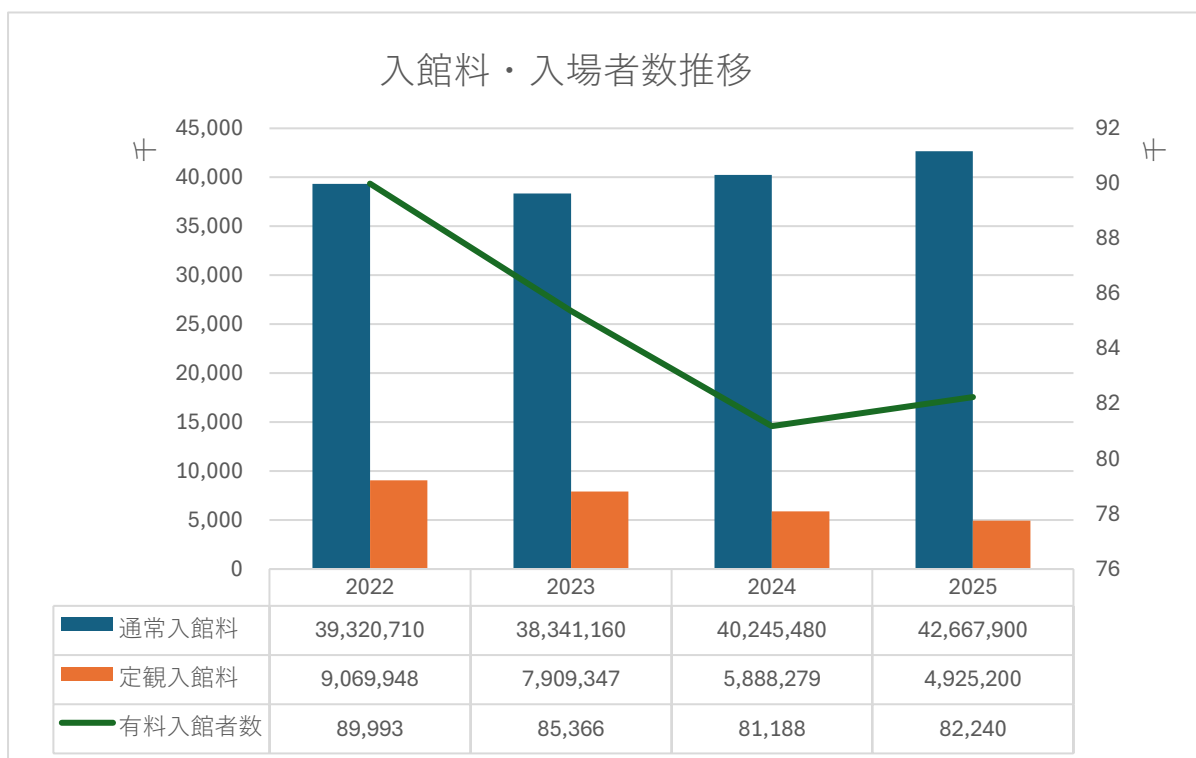
(1) 入場観覧料

通常入館観覧料：42,667,900 円（前年度 40,245,480 円 106%）

定期観光等観覧料：4,925,200 円（前年度 5,588,279 円 88.1 %）

団体入館料は、4 年間でほぼ半減しており、ランタンフェスティバルの貸切以外の一般ツアーの減少や修学旅行の行先多様化等、旅行形態の変化が影響している。

一方、通常入館料（個人客）は増加し続けており、写真映えなど SNS の訴求や体験型コンテンツの強化、着地型情報の発信（変面ショーチラシ設置）など、個人客の満足度と消費単価をあげる取り組みの成果が表れたと考える。



(1) 広報ツール

- [illegible]

ア 出版

- ・KADOKAWA ウォーカープラス／2025 年 5 月発行
- ・イオンフィナンシャルサービス 会員誌 MOM／2025 年 8 月発行
- ・JR 西日本 西 Navi11 月号／2025 年 10 月発行
- ・K&B パブリッシャーズ るるぶ長崎ハウステンボス 佐世保 雲仙'27／2025 年 12 月発行
- ・ABC アーク 歴史人 12 月号／2025 年 11 月発行
- ・TAC 出版 おとな旅プレミアム／2026 年 1 月発行
- ・長崎新聞 NR1 月号／2026 年 1 月発行
- ・昭文社 まっぷるマガジン九州 2027 年版／2026 年 1 月発行
- ・昭文社 ことりっふ長崎／2026 年 1 月下旬発行
- ・JTB パブリッシング るるぶ九州ベスト'27／2026 年 2 月発行
- ・JTB パブリッシング るるぶドライブ九州ベストコース／2026 年 2 月上旬

- ・旅色編集部 電子書籍「旅色」／2025 年 5 月配信
- ・ナガサキプレス 長崎のふつうは世間のふしぎ／2025 年 11 月配信
- ・九州観光機構 九州旅ネット／2025 年 12 月配信
- ・ナビタイムジャパン：NAVITIME
- ・日本交通公社：美しき日本全国観光資源台帳
- ・インフォメーションテクノロジー関西：じゃらん net、全日空、JR 西日本等
- ・長崎市 ゼロカーボンシティ長崎ポータルウェブサイト

- ・NCC 長崎文化放送 コスプレイベントに潜入取材／2025 年 7 月
- ・長崎新聞 ランタンフェスティバル切り絵御朱印／2026 年 2 月
- ・毎日新聞 ランタンフェスティバル切り絵御朱印／2026 年 2 月
- ・NBC 長崎放送 ランタンフェスティバル切り絵御朱印／2026 年 2 月
- ・NIB 長崎国際テレビ ランタンフェスティバル切り絵御朱印／2026 年 2 月
- ・KTN テレビ長崎 ランタンフェスティバル切り絵御朱印／2026 年 2 月

5. その他

(1) 各種会議等

4 月	18 日	長崎居留地まちづくり協議会
5 月	16 日	長崎居留地まちづくり協議会・7 年度総会、第 34 回協議会
	23 日	長崎ランタンフェスティバル企画幹事会
	28 日	第 2 回長崎ランタンフェスティバル企画幹事会
	30 日	定例理事会
6 月	16 日	定時評議員会
	17 日	長崎県観光連盟 総会
	27 日	長崎国際観光コンベンション協会 総会
7 月	18 日	第 35 回長崎居留地まちづくり協議会
8 月	29 日	長崎市宿泊施設協議会 全体会
9 月	24 日	中華人民共和国建国 76 周年記念祝賀会
	25 日	第 36 回長崎居留地まちづくり協議会
10 月	27 日	南海トラフ地震防災対策計画説明会
11 月	3 日	長崎歴史文化博物館開館 20 周年記念式典
	19 日	第 2 回理事会
	21 日	第 37 回長崎居留地街づくり協議会
1 月	13 日	長崎県観光機関 2026 年新春賀詞交歓会
	16 日	第 38 回長崎居留地まちづくり協議会
	22 日	甲種防火管理新規講習（～23 日）
	30 日	旧長崎英国領事館 開幕式
3 月	13 日	第 3 回理事会
	17 日	長崎県教育旅行誘致促進協議会
	19 日	第 39 回長崎居留地街づくり協議会
	25 日	第 2 回評議員会

(2) サービス向上の取り組み

- ・5 月 入口「掲示板・看板」の取替え（劣化修理）
- ・6 月 U S E N の設置（施設演出）
- ・8 月 夏休み企画クイズ&パズル（ファミリー向けイベント 参加者 161 名）
- ・10 月 入場窓口マイク設置、スタッフ制服の見直し

(3) スタッフ研修

- ・ディスプレイ研修（第 1 回 5 月 23 日、第 2 回 8 月 21 日、第 3 回 12 月 4 日）
内容：売店のレイアウト、仕入れ商品の選び方
- ・マナー研修（第 1 回 6 月 23 日、27 日 第 2 回 11 月 11 日、14 日）
内容：接遇、電話応対、メイク法、伝わる話し方